
平成17-19年度

厚生労働科学研究費補助金(医療安全・医療技術評価総合研究事業)

「医療安全と質を保证する患者状態適応型パス(PCAPS-IMT)
統合化システム開発研究」

主任研究者 飯塚悦功 (東京大学・大学院 教授)

補佐 棟近雅彦(早稲田大学理工学術院 教授)
水流聡子(東京大学・大学院 准教授)

平成19年度 中間成果報告シンポジウム プログラム

【テーマ】

1. PCAPS電子コンテンツの意義と課題
2. PCAPS連携システム:連携のタイプと必要とする連携メカニズム
3. PCAPSアドミニストレータが持つべき機能とその実現
～病院側・ベンダー側のプロセス～

日 時 : 2007年 9月15日(土) 10:00~17:00
16日(日) 10:00~15:30

会 場 : 早稲田大学理工学部大久保キャンパス

後 援 : PCAPS-IMT コンソーシアム

■ 9月15日（土） 司会進行：棟近雅彦・水流聡子

10:00-10:05

■開会の挨拶

主任研究者：飯塚悦功（東京大学）

10:05-10:15

■「PCAPS電子コンテンツと開発プロセス」

統括班（飯塚悦功・棟近雅彦・水流聡子）

10:15-12:30

■PCAPS領域別発表 「PCAPS電子コンテンツの意義と課題」

（順不同、「領域名：領域リーダー」）

泌尿器科：	田中 良典	（武蔵野赤十字病院）
循環器科：	山内 孝義	（水戸総合病院）
整形外科：	勝尾 信一	（福井総合病院）
小児科：	吉田 茂	（名古屋大学医学部附属病院）
神経内科：	高橋 眞冬	（青梅市立総合病院）
呼吸器外科：	矢野 真	（武蔵野赤十字病院）
N I C U：	加部 一彦	（愛育病院）
消化器内科：	蒲生 真紀夫	（みやぎ県南中核病院）
呼吸器内科：	蝶名林 直彦	（聖路加国際病院）
救 急：	織田 順	（東京医科大学）
がん（手術）：	河村 進	（四国がんセンター）
がん（化学療法）：	御子柴 路朗	（武蔵野赤十字病院）
糖尿病	菅野 一男	（武蔵野赤十字病院）
生体肝移植：	田中 紘一	（先端医療センター）

..... 昼休憩

13:30-14:30

■パネルディスカッション 「PCAPS電子コンテンツの意義と課題」

パネルリーダー：吉田 茂・織田 順

パネリスト：上記各13領域発表者

14:45-17:00

..... 休憩

■ワークショップ「PCAPS連携システム」

○連携知識の構造化

連携のタイプと共有すべき連携知識

統括班（水流 聡子・飯塚 悦功・棟近 雅彦）

○一般医療連携に関するPCAPS研究トライアル事例

（1）急性期病院主導型：「前立腺肥大症・がん」と「高血圧」

吉井 慎一（水戸総合病院）

（2）超専門診療所主導型：糖尿病における栄養・運動・薬物療法の適切な管理

朝比奈 崇介（南平眼科内科）

（3）拠点病院主導型：がん疼痛マネジメント

谷水 正人（四国がんセンター）

○討論

座長：飯塚悦功

討論者：一般医療連携：吉井 慎一・朝比奈崇介・谷水 正人

指定発言者：高度医療連携（がん）：若尾 文彦（国立がんセンター中央病院）

先端医療連携（生体肝移植）：田中 紘一

討論：（1）一般医療連携：吉井 慎一・朝比奈崇介・谷水 正人

指定発言：（2）高度医療連携：若尾 文彦

（3）先端医療連携：田中 紘一

..... 17:30 閉場

■ 9月16日(日) 司会進行 : 棟近雅彦・水流聡子

10:00-10:10

■ 「医療の質向上に向けた医療ITシステム構築のあるべき姿を求めて」

飯塚 悦功

10:10-12:00

■ コンテンツ開発メンバー&システムユーザからの情報提供

○ PCAPS統合化システム概要

統括班 (水流 聡子・飯塚 悦功・棟近 雅彦)

○ 神鋼加古川病院の小児科病棟におけるPCAPS電子カルテ

・ 計画系事例 / 運用実行系事例 / 分析事例

吉田 茂

○ 沖縄県立中部病院のPCAPS導入プロセス

・ 一般的な導入プロセス & PCAPS導入に特徴的なプロセス

・ 病棟から病院への導入プロセスへの展開

久島 昌弘 (沖縄県立中部病院)

○ 富山県立中央病院のモジュール型パスシステム & 電子カルテ

~ PCAPS思想 / 構想実現のためのトライアル ~

・ PCAPS思想・構想導入プロセス / コンテンツとシステム

宮澤 秀樹 (富山県立中央病院)

..... 昼休憩

13:00-14:00

■ PCAPS-IMTコンソーシアムからの情報提供

○ 報告 (1)

齋藤 直和・長峰 敦 (日本電気株式会社)

○ 報告 (2)

岡 和彦 (東芝住電医療情報システムズ株式会社)

14:00-15:15

■ パネルディスカッション

○ PCAPSアドミニストレータが持つべき機能とその実現

討論者: PCAPS研究メンバー: 吉田 茂・久島 昌弘・宮澤 秀樹

PCAPS-IMTコンソーシアム会員 (NEC, TSMED)

PCAPS研究統括班: 飯塚 悦功 (パネルリーダー)

棟近 雅彦・水流 聡子

15:00-15:20

■ 閉会の挨拶

飯塚 悦功

..... 15:30 閉場

■ ホームページのご案内 ■

PCAPS-IMT HP <http://plaza.umin.ac.jp/~A-epath/index.html>

■ ご意見・ご感想などは ■

PCAPS-IMT事務局 問合せ先

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1 工学部5号館 東京大学飯塚・水流研究室

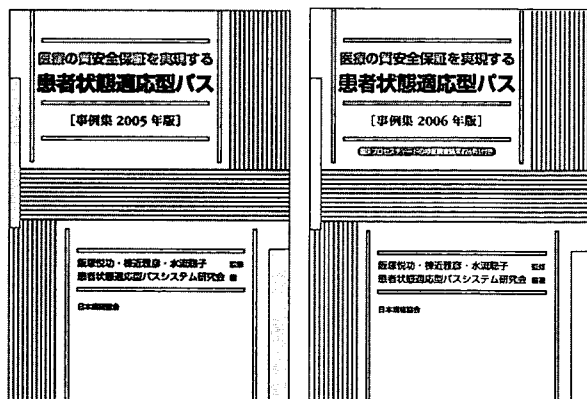
TEL/FAX: 03-5841-7299 E-mail: Office_PCAPS@umin.ac.jp

シンポジウム運営組織

※敬称略

企画委員会			
委員長	飯塚 悦功 (東京大学・大学院)		
副委員長	棟近 雅彦 (早稲田大学理工学術院)	水流 聡子 (東京大学・大学院)	
委員 (順不同)	田中 良典 (武蔵野赤十字病院) 山内 孝義 (水戸総合病院) 勝尾 信一 (福井総合病院) 吉田 茂 (名古屋大学医学部附属病院) 高橋 眞冬 (青梅市立総合病院) 矢野 真 (武蔵野赤十字病院) 加部 一彦 (愛育病院) 蒲生 真紀夫 (みやぎ県南中核病院) 蝶名林 直彦 (聖路加国際病院) 織田 順 (東京医科大学) 河村 進 (四国がんセンター) 御子柴 路朗 (武蔵野赤十字病院)	菅野 一男 (武蔵野赤十字病院) 田中 紘一 (先端医療センター) 吉井 慎一 (水戸総合病院) 朝比奈 崇介 (南平眼科内科) 谷水 正人 (四国がんセンター) 若尾 文彦 (国立がんセンター 中央病院) 久島 昌弘 (沖縄県立中部病院) 宮澤 秀樹 (富山県立中央病院) 加藤 康之 (総サイバーラボ) 齋藤 直和 (日本電気株式会社) 長峰 敦 (日本電気株式会社) 岡 和彦 (東芝住電医療情報システムズ株式会社)	
研究室委員 (50音順)	加藤 省吾 (東京大学博士課程) 金子 雅明 (早稲田大学理工学術院) 小柴 研一 (東京大学飯塚・水流研スタッフ) 佐野 雅隆 (早稲田大学博士課程) 島井 健一郎 (東京大学飯塚・水流研スタッフ)	段ノ上 秀雄 (東京大学飯塚・水流研スタッフ) 中田 知廣 (早稲田大学修士課程) 福島 瑠依子 (早稲田大学修士課程) 宮負 菜穂子 (東京大学修士課程) 吉田 剛 (東京大学修士課程)	

実行委員会			
委員長	飯塚 悦功 (東京大学・大学院)		
副委員長	棟近 雅彦 (早稲田大学理工学術院)	水流 聡子 (東京大学・大学院)	
委員 (50音順)	内山 健太郎 (東京大学修士課程) 加藤 省吾 (東京大学博士課程) 加藤 信子 (早稲田大学棟近研スタッフ) 金子 雅明 (早稲田大学理工学術院) 小柴 研一 (東京大学飯塚・水流研スタッフ) 坂田 泉美 (東京大学飯塚・水流研スタッフ) 佐藤 典子 (東京大学飯塚・水流研スタッフ) 佐野 雅隆 (早稲田大学博士課程) 島井 健一郎 (東京大学飯塚・水流研スタッフ)	鈴木 彬 (東京大学修士課程) 下野 僚子 (東京大学修士課程) 段ノ上 秀雄 (東京大学飯塚・水流研スタッフ) 中田 知廣 (早稲田大学修士課程) 福島 瑠依子 (早稲田大学修士課程) 宮負 菜穂子 (東京大学修士課程) 宮崎 勢 (東京大学修士課程) 吉田 剛 (東京大学修士課程) 吉田 隆宏 (東京大学 学部生)	



『医療の質安全保証を実現する患者状態適応型バス事例集』

2005/2006年度版

飯塚悦功・棟近雅彦・水流聡子 監修

患者状態適応型バスシステム開発研究会 編

日本規格協会 発行

2005年度版 ¥3,150(税込み価格)

2006年度版 ¥2,940(税込み価格)

厚生労働科研「医療安全と質を保証する患者状態適応型 パス統合化システム(PCAPS)開発研究(主任研究者:飯塚悦功)」 平成17~19年度最終成果報告シンポジウム開催のご案内

医療事故防止のための環境整備や実施手順の標準化は基本的な姿勢として重要です。しかしながら、「本質的医療安全」の実現には、絶えず変化する患者状態に適応させる形で、多様な専門的医療技術を組み込んだ医療介入プロセスを、質保証して提供するメカニズムの設計が必要です。また当該プロセスを現場で実現するためには、モジュール化した臨床プロセスに医療安全機能を組み込み、プロセス毎に質管理していくツールが必要です。本シンポジウムでは、質安全保証に必須である「標準化」「プロセス管理」を軸として、「患者状態適応型パス統合化システム開発研究」の3年間の成果を報告致します。

■ 日時 : 2008年3月8日(土)10:00-18:00

■ 場所 : 東京大学工学部(本郷キャンパス)2号館213号室
(裏面参照 http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_03_j.html)

■ プログラム概要(予定) : 全体司会 : 棟近雅彦(早稲田大学)・水流聡子(東京大学)

午前

◆PCAPSに組み込まれた医療の質安全保証のための思想
主任研究者:飯塚悦功(東京大学)

◆PCAPS電子コンテンツ開発報告(3年間で開発したコンテンツの全貌と今後開発整備すべきコンテンツについて報告)
泌尿器科(田中良典)・循環器(山内孝義)・整形外科(勝尾信一)・小児科(吉田 茂)・神経内科(高橋真冬)
呼吸器外科(矢野 真)・NICU(加部一彦)・消化器(乾 由明)・呼吸器内科(蝶名林直彦)
救急(織田 順)・がん<手術>(河村 進)・がん<化学療法>(蒲生真紀夫)
生体肝移植(田中紘一)・ユニットライブラリ<がん性疼痛マネジメント>(渡邊千登世)
※PCAPSコンテンツの一部をポスター会場にて展示致します。

◆PCAPS連携システム開発プロジェクト報告

- ①PCAPS連携システムのねらいと概要
- ②泌尿器科疾患と循環器疾患との複合連携<水戸>(吉井慎一:水戸総合病院)
- ③糖尿病連携<日野市>(朝比奈崇介:西東京糖尿病研究会)
- ④緩和ケア連携<四国>(谷水正人:四国がんセンター・的場元弘:がんセンター中央病院)
- ⑤脳梗塞連携<青梅>(進藤 晃:大久野病院)

午後

◆PCAPS統合化システム

- ①可視化・構造化・標準化・電子化のための方法論とシステム設計
- ②PCAPSビルダー<機能とASPシステムの可能性>
- ③PCAPSアドミニストレータ<機能とシステムプロトタイプを紹介>
- ④PCAPSアナライザー<機能とASPシステムの可能性・分析事例>

◆PCAPS-IMTコンソーシアムと今後の展開

■ 参加費(資料代+税込):(当日、受付にてお支払いください)

一般参加者 : 3,000円 (研究協力者所属病院・検証調査協力病院の職員は無料)

■ 申込方法 : 裏面をご覧ください

お問い合わせ: staff@tqm.t.u-tokyo.ac.jp

なお、3月9日(日)には、(社)日本品質管理学会(JSQC)医療の質・安全部会、QMS-H研究会(JSA後援)共催
医療における質中心経営管理システム - 導入・推進中の病院からのメッセージ シンポジウムが以下のとおり開催されます

(社)日本品質管理学会(JSQC)医療の質・安全部会、QMS-H研究会(JSA後援)共催

医療における質中心経営管理システム - 導入・推進中の病院からのメッセージ シンポジウム

■ 日時 : 2008年3月9日(日)9:30-17:00

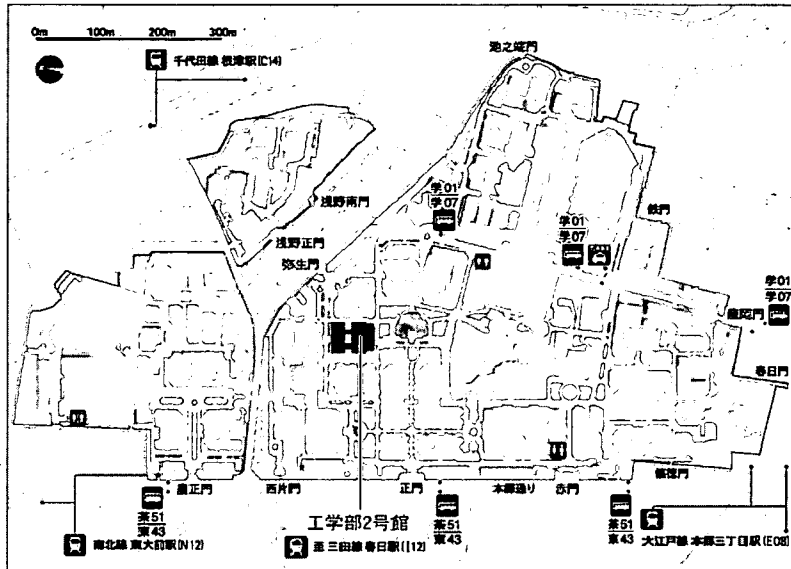
■ 場所 : 同上

■ 概要 : 医療における質中心経営管理システム(QMS-H)の確立をめざして、QMS-H研究会では、病院への導入・推進方法の研究を進めています。現在、6つの病院でQMS-Hの構築。またはステップアップをめざして、導入・推進活動が進行中です。その活動内容を紹介するとともに、導入・推進方法はいかにあるべきか、QMS-Hはどのような形態であるべきかについて意見交換を行います。医療機関へのQMSの導入と推進に関心のある方にとって、とても充実したプログラムとなっています

■ 参加費(資料代+税込):一般(JSQC非会員):8,000円、JSQC医療部会員:1,000円/JSQC会員・非部会員:3,000円
PCAPS成果報告シンポジウム(3/8開催)参加者:1,000円

■ 申込み等の詳細:E-mail: secretary@tqm.mgmt.waseda.ac.jp FAX: 03-3232-9780 TEL: 03-5841-7299

キャンパス周辺図



本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線) 徒歩8分
 本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線) 徒歩6分
 湯島駅または根津駅(地下鉄千代田線) 徒歩8分
 東大前駅(地下鉄南北線) 徒歩1分
 春日駅(地下鉄三田線) 徒歩10分

都バス利用 茶51駒込駅, 王子駅または東43荒川土手
 操車所前行
 東大(赤門前、正門前、農学部前バス停)下車
 学バス利用 学07東大構内行 - 東大(龍岡門, 病院前,
 構内バス停)下車

御茶ノ水駅
 (JR中央線, 総武線) 地下鉄利用 丸の内線(池袋
 行) - 本郷三丁目駅下車
 地下鉄利用 千代田線(取手方面行) - 湯島駅また
 は根津駅下車

上野駅
 (JR山手線等) 学バス利用 学01東大構内行 - 東大(龍
 岡門, 病院前, 構内バス停)下車

■参加申し込み:

必要事項(御氏名, 御所属, E-mailアドレス, TEL, FAX)をご記入の上, 以下事務局宛に
 E-mailまたはFAXにてお申し込みください

PCAPS-IMT事務局 E-mail: staff@tqm.t.u-tokyo.ac.jp TEL & FAX : 03-5841-7299
 詳細は, <http://plaza.umin.ac.jp/~A-epath/>をご参照ください

厚生労働科研「医療安全と質を保証する患者状態適応型パス統合化システム(PCAPS) 開発研究」平成17～19年度最終成果報告シンポジウム(2008年3月8日開催)

参加申込書

※研究協力者所属病院・検証調査協力病院の方は右欄に「○」をご記入ください。()

ふりがな 氏名	所属	E-mailアドレス	TEL	FAX